

町の地域イメージ分析

福山大学工学部

正会員 ○井上 矩之

夢 前 町

正会員 坂口 和也

1. はじめに

『人々の心の中には相対する男性原理と女性原理の動きがあり、一方が強調されすぎると、他方が無意識のうちにコンプレックスとしてとまり、その補償を求めて動き出すので、両者のバランスをとるように地域計画を立案すべきである』という1つの理念が提唱¹⁾されている。著者等は平成4年に福山市職員の協力を得て、市内各地域の地域イメージを調査、福山市には「女性的な感じの地域が欠如している」ことを指摘した²⁾。その際、女性イメージに違いないと予想していた港町である鞆地域まで男性側に傾いてしまった。本文では、鞆地域を細分するとともに回答者を地域住民として、再検討してみる。

2. アンケート調査の概要

平成6年4月2日鞆町のまちづくりについての住民集会の機会を利用して、10個の形容詞対を5段階評価で回答するアンケート調査を実施した。参加者に60枚の調査票を配布し54枚の回答を得た。

形容詞対は「①男性的－女性的、②俗っぽい－神聖な、③活動的な－落ち着いた、④明るい－暗い、⑤にぎやかな－さびしい、⑥力強い－弱々しい、⑦威厳のある－庶民的な、⑧かたい－やわらかい、⑨ごちゃごちゃした－すっきりした、⑩生産的な－消費的な」である。

町内を鉄鋼団地、原、石井浜、後地、鞆港、平の6地区に区分している。

3. 男性的・女性的イメージについて

図-1に形容詞対①についての全回答者平均評点を示す。女性的な地区は皆無である。

従来²⁾の調査で鞆町は男性的(-0.28)となっていた。その解釈として、鞆町内でも港地区は女性的なのだが、鉄鋼団地地区が強男性的で、前者を上回り、総体として男性的になっているに違いないと考えた。しかし本調査ではこの仮説を否定されてしまった。「海・湾・港・舟・島－自然的・曲線的－女性的」ととらえたのであるが、鞆港は自然の海岸線や砂浜がなく、ランドマークの常夜灯が形状的には三角形で縦長の造形物であることが関係しているのではないか。

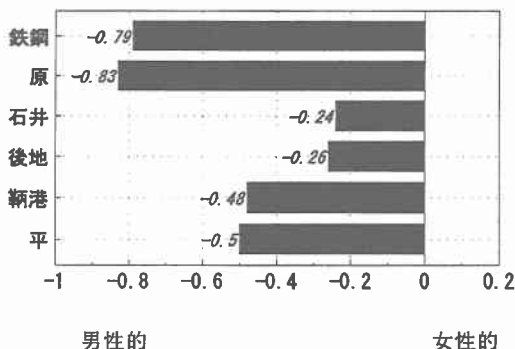


図-1 鞆町内各地域の男女性イメージ

4. 地区別のイメージ

鞆町内6地区の個別の地域イメージは次のようにまとめられる。

鉄鋼団地	⑤さびしく	①男性的で	⑨ごちゃごちゃした
原	⑨ごちゃごちゃして	⑦庶民的で	①男性的
石井浜	⑨ごちゃごちゃして	⑦庶民的	②俗っぽい
後地	⑦庶民的で	⑤さびしく	⑨ごちゃごちゃ
鞆港	⑨ごちゃごちゃして	⑦庶民的で	①男性的
平	⑦庶民的で	⑨ごちゃごちゃ	①男性的

また、鞆町内のイメージバランスという観点からは、①は男性、②は俗っぽい、⑤は寂しい、⑦は庶民的、⑨はごちゃごちゃの方向にそれぞれ一方的に偏っているという結果になった。

5. 主成分分析

表-1に示す「地区別・形容詞対別の平均評点」を使用し、10個の形容詞対を少数の主成分(合成変量)に集約し、この主成分を使って各地区を分類する。

表-1 地区別・形容詞対別の平均評点

	女性	神聖	落ち	暗い	さび	弱々	庶民	やわ	すっ	生産
鉄鋼	-0.79	-0.44	-0.42	0.62	0.80	0.18	0.51	-0.45	-0.69	-0.49
原	-0.83	-0.35	-0.15	-0.08	0.05	-0.31	0.90	-0.23	-1.00	-0.05
石井	-0.24	-0.49	-0.38	-0.23	-0.03	0.08	0.53	-0.03	-0.95	0.08
後地	-0.26	-0.02	0.32	0.22	0.66	0.23	0.67	0.25	-0.51	0.35
鞆港	-0.48	-0.22	-0.05	-0.05	0.26	0.12	0.77	0.02	-0.98	-0.00
平	-0.50	-0.41	-0.24	-0.07	0.27	-0.07	1.00	0.40	-0.73	0.40

(1) 主成分の抽出

表-2に第Ⅲ主成分までの係数の値、固有値、寄与率、累積寄与率を示す。第Ⅲ主成分までの累積で全体の分散の約90%を説明するから、主成分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでいろんな分析をすればよい。

我々の従来の調査では(参考文献2など)、主成分Ⅰは男女軸、Ⅱは聖俗軸、Ⅲは産業軸であり、かつ主成分Ⅰは60%を超える圧倒的な寄与率をもっていたが、今回はその性質が少し変わった。

すなわち、主成分Ⅰは従来の男女軸+産業軸の複合的な傾向をもち、Ⅲは従来の男女軸の縮小版の男女軸、Ⅱは明暗軸となり、従来あった聖俗軸がなくなった。回答者が従来の自治体職員から地域住民に変わっていることもあるだろうが、今回は全体が高台から一望できそうな狭い地域であり、お互いが連続していて、地区を明敏に分離するのが困難なのかも知れない。

表-2 主成分の係数と寄与率

	主成分Ⅰ	主成分Ⅱ	主成分Ⅲ
女性的な	.3722	.0025	.5612
神聖な	.3815	-.1876	-.2397
落ち着いた	.4200	-.1083	-.2480
暗い	-.1457	-.4731	-.2247
さびしい	.0311	-.4921	-.2129
弱々しい	.1418	-.4079	.4065
庶民的な	.1555	.3306	-.5355
やわらか	.4552	.1478	.0254
すっきり	.2450	-.3822	-.1322
消費的な	.4537	.2086	.0127
固有値	3.814	3.687	1.492
寄与率%	38.14	36.87	14.92
累積寄与	38.14	75.01	89.93

(2) 主成分の値による地域分類

地区ごとに主成分Ⅰ、Ⅱの値を計算して、2次元座標上にプロットしたものが図-2である。

海辺の4地区がひとまとまりになっている。工業地区の鉄鋼団地と山側の後地地区は各々独立して位置している。

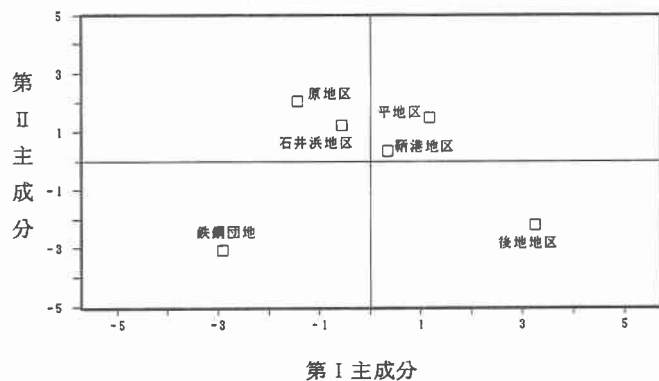


図-2 主成分Ⅰ、Ⅱ軸上の地区分類

6. むすび

歴史的文化的地域として著名な鞆、なかでも鞆港地区はメディアイメージでは恐らく女性的と印象

されると思う。しかしながら、地元自治体の職員のみならず、毎日その中で生活している地域住民さえも、鞆は女性的とは感じていない。その理由は今後検討していきたいが、地域の発展方向として、歴史や自然資源の観光を目指すのならば、女性イメージを強調する施設の導入など必要でないか。

参考文献

- 1) 佐佐木綱：地域コンプレックスの概念と計画、第54回関西地区大学合同セミナー記念論文集「風土分析と地域計画」、pp.1-22、昭和60年1月
- 2) 井上矩之・飯島克則・馬場博志：福山市内各地域のイメージ分析、第44回土木学会中国四国支部研究発表会講演概要集、pp.544-5、平成4年5月